

		no. page title	Writer name
巻頭言	1	6 日本バイオ産業の発展に向けて	黒田篤郎
	2	100 日本の持続的な経済成長を支えるバイオインダストリーへの期待	永山 治
	3	190 バイオテクノロジーとパブリックアクセプタンス	大石道夫
	4	272 バイオテックの発展と薬価事前相談制度の創設に向けて	山田 英
	5	350 バイオテクノロジーの発展と研究開発型製薬産業の挑戦	多田正世
	6	440 グリーン系バイオの発展に向けて：雑感	清水 昌
目で見える バイオ	2	102 空気がよめる細胞たち	荏原充宏
	3	192 細胞内レドックス状態の可視化によるレドックスモジュレーター探索	寶関 淳・阪井康能
	5	352 透明標本で外来魚駆除に貢献	石井健一郎・豊原治彦
総 説	1	8 次世代バイオ医薬品製造技術開発 ～高生産用 CHO 細胞株の開発を中心にして	大政健史
	1	14 バイオエタノール生産における新規酵素の開発	福山志朗・Paul V.Harris
	2	104 <バイオインダストリー協会賞 受賞論文> ヒト iPS 細胞から肝細胞への高効率分化誘導法の開発とその実用化に関する研究	水口裕之
	2	110 パスウェイエンジニアリングによるアスタキサンチンの効率的生産技術の開発	三沢典彦・竹村美保
	4	274 アミド結合形成を触媒する新規酵素	大利 徹
	5	354 3D-バイオプリンターを実現するためには？	松崎典弥・明石 満
	5	362 代謝工学を利用した <i>Corynebacterium glutamicum</i> による乳酸およびコハク酸の生産	柘植陽太・近藤昭彦
	6	442 <バイオインダストリー協会賞 受賞論文> 生体内の分子・細胞挙動を可視化する化学プローブのデザイン・合成・生物応用	菊地和也
	6	449 <バイオインダストリー協会賞 受賞論文> 環境バイオテクノロジーの発展と普及	渡邊一哉
	6	455 高機能な二重特異性抗体医薬の開発	浅野竜太郎・杉山在生人・熊谷 泉
解 説	1	20 医療応用に適したフィーダー細胞フリーのヒト多能性幹細胞用培養基質の開発	山本卓司・藤田和将・服部俊治・関口清俊
	1	24 糸状菌の細胞壁多糖 $\alpha$ -1,3-glucan 欠損株の物質生産への応用	吉見 啓・阿部敬悦
	1	29 ロドコッカス属放線菌における抗生物質生産	北川 航・田村具博
	1	33 病原菌によるシロイヌナズナの気孔閉口機構	叶 文秀・村田芳行
	1	37 微生物の共存や空間局在を造り出すマイクロスケールの空間構造	八幡 穰
	2	116 カイコ性決定因子の発見と蚕糸業への応用	木内隆史・勝間 進
	2	121 スチレンモノオキシゲナーゼを利用した光学活性エポキシアルカン化合物の生産	戸田 弘・伊藤伸哉
	3	194 IR/MAR 遺伝子増幅法の開発と組換えタンパク質生産への応用	清水典明
	3	198 プロテアソーム阻害が引き起こすレドックス異常と抗酸化食品成分による抑制	寶関 淳・阪井康能

	no.	page	title	Writer name
解 説	3	202	プレニル化はフラボノイドの機能性を増強する	向井理恵・寺尾純二
	3	206	耐病性を向上させた次世代イネの作出に向けて	山口公志・川崎 努
	3	210	機能性高分子を利用した多能性幹細胞の新規三次元培養法	尾辻智美・中辻憲夫
	3	215	大気中から主要栄養源を取り入れる超低栄養性細菌—その炭素および窒素代謝	吉田信行・矢野嵩典・湯不二夫・高木博史
	4	280	がんエピゲノム解析に基づく胃がんリスク診断マーカーの探索	鈴木 拓・山本英一郎
	4	284	アルツハイマー病治療薬として期待されるシロイノシトールの微生物生産	吉田健一・田中耕生
	4	288	創薬ターゲットとしての核—細胞質間物質輸送	宮本洋一
	4	292	翻訳後修飾を含むアミノ酸配列を高特異的に認識する人工結合タンパク質	安井典久・服部峰充・小出昌平
	5	369	アルキン標識ラマンイメージング：生体内の低分子化合物を見る	安藤 潤・閻闡孝介・藤田克昌・袖岡幹子
	5	374	環境中の脱窒微生物に関する研究の進展	磯部一夫・妹尾啓史
	6	462	天然キレート剤、ムギネ酸類の実用的合成法が拓く新たな可能性	村田 純・荒木良一・村田佳子・難波康祐
	6	467	麹菌異種発現系を利用した糸状菌由来天然物の生産	南 篤志・劉 成偉・及川英秋
	6	471	第二世代 OGAB 法が可能にした 50 個以上の DNA 断片集積	柘植謙爾・板谷光泰
	6	476	抗菌ペプチド、ε-ポリ-L-リジン生合成におけるポリマー鎖長決定機構	濱野吉十
	トピックス	1	42	ユーイング肉腫の動物モデル開発 難治性がんの治療法開発に向けた新評価系
1		45	有機質肥料活用型養液栽培における根圏微生物群は植物病原菌を制御する	藤原和樹・篠原 信
1		47	サツマイモを原料とした液体麹づくり	舛田 晋
1		49	海綿—共生細菌系の化学防御機構	脇本敏幸・阿部郁朗
1		52	Togo Table：表形式データにアノテーションを付加するウェブツール	河野 信
2		126	ゲノムマイニングによる休眠型新規チオペプチド ラクタゾールの発見	尾仲宏康
2		129	スマートポリマー：細胞メカノバイオロジーに貢献する細胞培養ツール	荻原充宏
2		131	植物の生長制御におけるチロシンリン酸化の役割と応用	二藤和昌
2		134	サリチル酸による気孔閉鎖と乾燥耐性	三浦謙治・村田芳行
2		137	RNA ポリメラーゼ II 転写産物の長さを決めるプロセシングの制御機構	山口雄輝
3		220	マスカット・ベリー A の特徴香を引き出すブドウ栽培およびワイン醸造	小林弘憲・佐々木佳菜子
3		222	乳酸菌の 2 本鎖 RNA による免疫恒常性維持	川島忠臣・辻 典子
3		225	未培養微生物の代謝活性を検出する超高感度安定同位体プローブ法の開発	青柳 智・堀 知行
3		228	人工分子と生体分子の組み合わせからつくる刺激応答性ヒドロゲル	池田 将
3		230	第 3 の生体触媒の発見 放線菌由来二次代謝産物アクチノロージンは有機触媒である	西山辰也・橋本義輝・小林達彦
3		232	ソバのフラボノイド C-配糖化酵素の同定と利用	田口悟朗
4		297	ホップゲノムから栽培化の歴史を紐解く	高木基成・白石 慧・小笠栄一郎
4		300	難病“クッシング病”発症の分子メカニズムの解明	川口紘平・駒田雅之
4	302	植物ミトコンドリアへの選択的遺伝子導入方法の開発	沼田圭司	

	no.	page	title	Writer name
トピックス	4	304	高速シークエンサーで辿る硝石生産の微生物生態学的足跡	成廣 隆
	4	306	ウイルスの毒性遺伝子を用いた病原菌の生育抑制 ～植物病原菌からヒト病原菌への応用～	浦山俊一・森山裕充・寺岡 徹・川本 進
	4	308	マメ科で見つかった新規細胞質型チロシン合成経路	前田 宏
	5	378	少量のエタノール摂取の健康への影響	伊豆英恵
	5	380	[4+2]-環化付加反応によるポリケタイド大環状化機構の発見	橋本拓哉・葛山智久
	5	383	ステロール標的抗真菌剤の活性発現における細胞膜輸送バランスの重要性	西村慎一・掛谷秀昭
	5	386	ゲノムワイドな SNP データから探る現代日本人のルーツ	中込滋樹
	5	389	マリアナ海溝超深海水塊における微生物生態系	布浦拓郎
	5	392	トランスオミクス解析: マルチオミクスデータから代謝制御ネットワークを再構築する	柚木克之・久保田浩行・黒田真也
	6	481	<i>In vitro</i> 代謝工学による 1-プタノール生産	岡野憲司・本田孝祐
	6	483	酒造工程中に微量存在する微生物の検出法の開発	高橋正之
	6	485	樽酒と食品の相性 ～樽酒中の成分が食品の油脂とうま味に及ぼす影響～	高尾佳史
6	487	尿1滴で短時間・安価・高精度に早期がんを診断!	広津崇亮	
学会見聞記	1	54	日本生物工学会大会	渡邊太郎・山下 誠・森脇 圭・今村志穂実・西原宏直・杉浦秀博
	4	311	日本農芸化学会大会	中村英光・永田宏次・水口千穂・岡田晋治・伏信進矢・井上 順・野田陽一・新井博之・森 直紀・永田晋治
バイオの窓	1	59	三つ子の魂百まで?	山村茂樹
	2	140	真っ暗闇の中のかすかな光を求めて	大石祐一
	3	234	阻止円を覗きながら	善藤威史
	4	320	バイオの真夏の夜の夢	田中 剛
	5	395	バイオマスの可能性	荻野千秋
	6	489	予防先制医療	佐藤孝明
産業と行政	2	141	ウシの第一胃内容液を活用したメタン発酵と資源循環システム	馬場保徳・多田千佳・福田康弘・中井 裕
	2	146	平成27年度 各省バイテク関連予算案	-
	3	236	微生物ゲノム <i>de novo</i> アセンブリの最前線	中村昇太
	3	240	九州学生本格焼酎プログラム (QSP) について	林 圭・伊南敏雄・竹川 薫・鮫島吉廣・水光正仁
	3	244	国際医療交流 (メディカルツーリズム)、ヘルスツーリズムの産業化における現況と課題	高橋伸佳

	no.	page	title	Writer name
産業と行政	3	249	北海道民の遺伝子組換え作物の受容性について	富田房男
	4	321	天然物創薬の新しい潮流（新たなフロンティア）	能登 靖
	4	325	生態系影響評価への次世代シーケンサーの活用 バイオオーグメンテーション施工時の微生物叢解析を例に	三浦隆匡・山副敦司・藤田信之
	4	330	今後のバイオ産業政策の在り方について（論点整理）「ゲノム編集技術」が創るバイオ経済（Bioeconomy）の未来	佐伯徳彦
	5	403	神奈川における再生・細胞医療の産業化に向けた取組みについて	杉山力也
	5	408	日本および欧米におけるコンパニオン診断薬の規制の現状および今後の展望	永井純正
	5	412	バイオ関連発明におけるプロダクト・バイ・プロセス・クレームの利用—最高裁判決を踏まえて—	田中夏夫
	5	416	“竹バイオマス”プロジェクト 樹脂複合化素材としての可能性を目指して	大島一史
	6	490	遺伝子組換え実験に関わる大学遺伝子協の活動	永野幸生
	6	494	＜藻類バイオ技術の実用化に向けて＞《前編》 特集を組むにあたって	荒 勝俊
	6	495	微細藻類によるバイオ燃料・原料用グリーンオイル供給事業化に向けて	松本光史
	6	503	バイオ・ポリエステル樹脂：過熱水蒸気法による“End-of-Life”の最適選択	大島一史
シリーズ	2	164	＜バイオが貢献して拓く未来社会＞ ⑨『健幸』社会の実現に向けて—産業・技術およびサービスの姿— ＜バイオビジネスシリーズ＞	大家利彦・湯元 昇
	5	396	② コアテクノロジーを融合してライフサイエンスビジネスにつなぐ	平井良典
国際動向	1	60	名古屋議定書 第1回締約国会合報告	炭田精造・野崎恵子
	5	421	2015 BIO International Convention を通じた海外との連携	塚本芳昭・田中裕教・高倉 薫
	6	508	GM 作物商業栽培の世界動向 2014 ＜シリーズ：グローバル連携＞	富田房男
	3	252	④ペンシルベニア州のライフサイエンス産業	Craig Lincoln Tucker
	5	426	⑤ AUSTRIA: Little Big Country for Life Sciences & Cancer Research	Karl Hagen Genser
書 評	1	93	微生物と金属資源のはなし 地球を救うメタルバイオテクノロジー	田中 剛
	2	183	先端医療を支える工学—生体医工学への誘い	米沢 実
	3	263	基礎から学ぶ生物化学工学演習	早川 敦
	3	264	「科学のとびら」シリーズ 58 生き物たちの化学戦略—生物活性物質の探索と利用—	依田幸司
	4	343	「続」英語で学ぶ生物学 生物科学の新しい挑戦	田畑和彦

		no.	page	title	Writer name
JBA ニュース	1	63		BioJapan2014 World Business Forum 進化しつづけるバイオ産業	-
	1	71		BioJapan2014 主催者セミナー	-
	1	85		JBA 三賞合同授与式、発表会	-
	1	87		BioJapan2014 における JBA 短期インターンシップ	-
	1	90		静岡がんセンター・ファルマバレープロジェクト現地視察会	-
	2	174		平成27年 バイオ関連団体合同賀詞交歓会	-
	2	176		全国バイオ関係者会議 活動紹介	-
	2	178		3研究会 合同シンポジウム 藻類に託されるグリーンビジネス成長戦略のゆくえ	小川 順
	2	180		“未来へのバイオ技術”勉強会 バイオ医薬品生産分野における研究開発とオミクス活用の展望	大政健史・新城雅子
	3	256		バイオエンジニアリング研究会 講演会「バイオ医薬品製造における新展開」	-
	3	258		ヘルスケア研究会の設立と2014年度活動紹介	-
	3	260		機能性食品研究会活動紹介	-
	4	336		BIO との新しい連携 —BIO Asia2015	-
	4	337		国際連携関連セミナー紹介	-
	5	430		アルコール・バイオマス研究会 キリンビール 横浜工場 見学会	-
	6	512		バイオエンジニアリング研究会 見学会とラウンドテーブル・ディスカッション (RTD)	山田智也
	6	514		植物バイオ研究会 農業生物資源研究所 (つくば) 見学会	-
6	515		2014 年度 知的財産委員会活動報告	-	
6	517		JBA バイオリーダーズ研修 2015	-	
表紙写真 (左より)	1			有機質肥料活用型養液栽培における根部病害抑止効果 (本誌 p.45 「トピックス」より)	
	1			チョコガタイシカイメン ( <i>Discodermia calyx</i> ) (本誌 p.50 「トピックス」より)	
	2			カイコの限性形蚕系統の幼虫 (本誌 p.116 「解説」より)	
	2			(中央) 遺伝子導入した CGM レタス (本誌 p.114 「総説」より)	
	2			レタス非形質転換体の実生 (本誌 p.114 「総説」より)	
	3			Redoxfluor で可視化した細胞 (本誌 p.199 「解説」より)	
	3			<i>in vitro</i> における幹細胞の神経細胞への分化 (本誌 p.213 「解説」より)	
	4			合掌造り家屋 (本誌 p.304 「トピックス」より)	
	4			ホップ SW 品種の毬花 (本誌 p.298 「トピックス」より)	
	5			ヒト臍帯静脈血管内皮細胞およびヒト皮膚リンパ管内皮細胞の蛍光免疫染色による共焦点レーザー顕微鏡イメージ (本誌 p.358 「総説」より)	
	5			アミメハギの透明標本 (本誌 p.352 「目で見るバイオ」より)	
	6			グリーンオイル産生藻類屋外培養施設 (本誌 p.499 「産業と行政」より)	
	6			蛍光シルクドレス (本誌 p.514 「JBA ニュース」より)	